

経営比較分析表（令和5年度決算）

愛媛県 愛南町

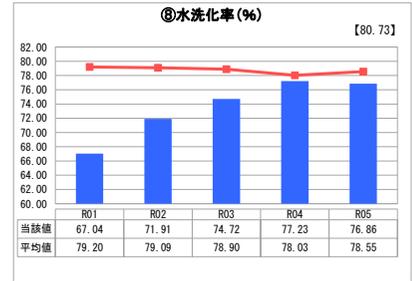
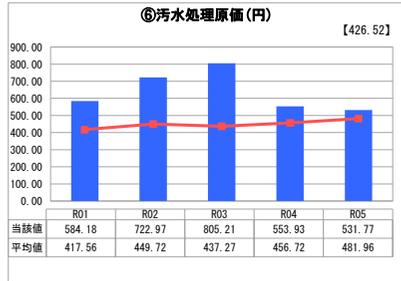
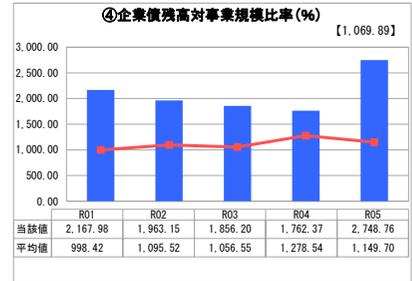
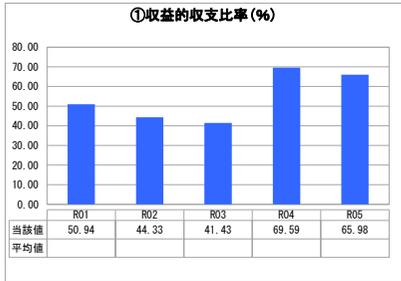
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.48	79.57	2.620

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,038	238.94	79.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
657	0.30	2,190.00

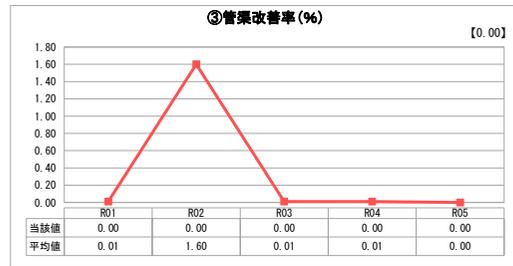
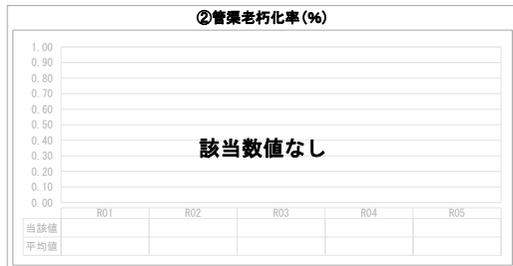
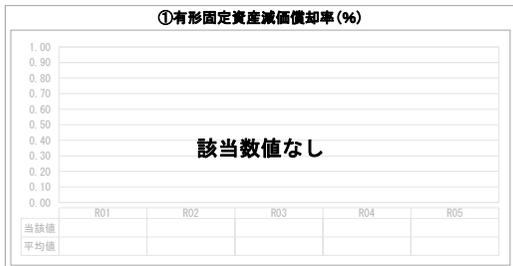
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率において、令和5年度は令和6年度に地方公営企業会計へ移行するため、打切決算の影響を受けて使用料金の一部が未収となった事等により前年度に比べて約4pt減少した。令和4年度から施設の機能保全工事を実施しており、地方債償還金の増加など、この先数年は数値が低下するものと見込まれる。
- ・経費回収率についても、上記の要因により前年度に比べて約1pt減少した。類似団体平均との比較においては、9.47pt下回っている。収益については、使用料以外の収入に大きく依存している影響が考えられ、経営の効率性を低下させる要因となっている。
- ・汚水処理原価について、令和5年度は汚水処理費の減少により前年度に比べて約22pt減少となったが、類似団体と比較しても高い数値で推移していることから、今後も維持管理費の削減や接続率の向上等の経営改善が必要である。
- ・施設利用率について、令和5年度は24.66%と類似団体平均より低くなっている。
- ・水洗化率についても、近年は若干の改善傾向にあるが、類似団体平均との比較では下回っている。今後は未接続者への水洗化普及促進に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

本町の漁業集落排水施設は、供用開始から20年以上経過している施設もあり、経年による老朽化が懸念されている。また、施設自体が海岸沿いにある点も、施設の劣化を早める要因にもなっている。近年ではポンプ施設等、機械施設の故障が頻発に発生しており、これらの修繕費の増加が経営の効率性を低下させている要因である。このため、機能保全計画に基づく施設改修工事を令和4年度から実施し、施設の長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図り、計画的な維持管理・更新を行う予定である。

全体総括

1. 経営の健全化・効率性について分析した結果、本町において、特に改善が必要だと考えられるのは、収益的収支比率、経費回収率及び汚水処理原価である。収益が使用料以外の収入で賄われている傾向が顕著にあらわれていることから、適切な使用料への見直しや、水洗化の普及促進により利用効率を高め、有収水量の増加により使用料収入を確保し、経営改善に努めることが必要である。

2. 老朽化の状況については、近年、経年による施設の故障等が多くみられ、修繕費による経営負担も増加していることから、新たに策定した機能保全計画に基づき、老朽化した施設の改修・更新等を計画的に実施することで、必要経費の削減に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。